

平成25年度京都行政相談協議会山城南ブロック自主研修会報告

松石 三重子

日時： 平成26年2月26日（水） 午前10時30分～

場所： 和東商工会館 研修室 （和東町役場庁舎 東側2階）

次第

- (1) 開会（司会） 和東町役場 総務課長 (10:30)
- (2) あいさつ (10:30～10:45)  
行政相談協議会山城南ブロック長 松石三重子  
和東町長 堀 忠雄  
京都行政評価事務所次長 松村政一
- (3) 研修 (10:45～12:00)

講題「行政相談委員生活40年を振り返って」

講師 前行政相談委員 瀬田 佐江子氏

参加者

木津川市（井上敬子）笠置町（中西正範）精華町（久保美栄子・杉嶋茂孝）

和東町（松石三重子）京都行政評価事務所（松村政一次長・小松琴恵行政相談官）



瀬田佐江子氏は41歳の時、宇治市より推薦されて行政相談委員に委嘱されました。

それから40年間 行政委員活動について、心に残る事を事例をひきながらご講演下さいました。最後に「行政相談委員活動は私の人生の教科書」と結ばれました。

人様に喜んで頂く委員活動は自分自身の学びになると感じました。大変有意義なご講演でした。

(4) 昼食 (12:00～12:30)

(5) 茶香服 (12:30～15:30)

茶香服とは

茶の銘柄をあてる競技(遊び)です。「ちゃかぶき・茶歌舞伎」または「ちゃかふく・茶香服」と云います、別名“闘茶会”とも云います。

南北朝時代から室町初期の東山時代にかけての時期が最盛期だったと云われています。当時は、公家や上流武家社会の間で優雅な遊びとされていましたがだんだんと派手になりました。

また、賭け事にまで発展しましたので人間関係の破綻をもたらす事になり、足利幕府は建武3年(1336年)禁令しました。

参加者

木津川市(井上敬子) 笠置町(中西正範) 精華町(久保美栄子・杉嶋茂孝)

和束町(松石三重子) 京都行政評価事務所(松村政一次長・小松琴恵行政相談官)

ご講師(瀬田佐江子)

本日は

5種(玉露、てん茶、煎茶、番茶、ほうじ茶)のお茶当てクイズにしました。



正式の札の入れ方は花鳥風月客で、「花・玉露、鳥・八女玉露、風・開催地の煎茶、月・静岡煎茶、客・鹿児島煎茶」ですが 今回は優良茶和束として「優・宇治玉露、良・てん茶、茶・煎茶、和・番茶、束・ほうじ茶」です。

香りと水色、滋味、で判断するのですが、ほうじ茶の水色は誰でもわかりますが他の4種の水色は ほとんど同じ色をしています 難しい・・・???



8 g の茶に熱湯を注ぎ、90秒後に抽出したお茶で銘柄を当てます。

1種間違えますと3点、2種間違えますと1点になり 5種全問正解で皆点（かいてん）、全問不正解はチョットと云います。

松村次長、小松相談官、参加者の皆さん真剣に取り組んで下さいました。

最後に宇治玉露の美味しい淹れ方の説明をさせて頂き、ほんまもんの宇治玉露を愉しんで頂きました。

(6) 閉会 あいさつ 中西委員  
和束町役場で解散

以上